

熊本学園大学 外国語学部 第31号

英米学科 GAZETTE

令和5年11月
発行・編集
熊本学園大学 外国語学部

巻頭言

岡村 一(教授/スペイン文学)

1年ぐらい前、羽田で熊本便に搭乗すると、CA の中に卒業生の顔があった。就職試験を受ける際、彼女には求めに応じ事細かに助言したのだが、その後なんの連絡もなかった。学生はそんなものだと思っているから腹は立てていなかったが、さすがにこやかに挨拶するわけにいかず、「採用されたのなら挨拶にぐらいこい」といって頭を叩く真似をした。(見ていた乗客は驚いたろう。)後刻、彼女から会社の絵葉書を渡

された。表にはかつての非礼についての詫びの文句が連ねてあった。聞けば何日か前に搭乗者名簿を渡される由。思いがけなかったし、知らぬ間に成長していたのだと嬉しくもあった。学科も創設 30 年となれば、デパート、銀行、学校、ホテル、商店等々で、働いている卒業生とよく会う。皆もはや「社会人」になっている。わたしには子がないが、そのたびわが子の成長を喜ぶ親の気持ちが想像できる気がするのである。

研究紹介

海外交換留学のレポート： 看板で見える韓国風ローマ字の現状

Judy Yoneoka (Professor, World Englishes)

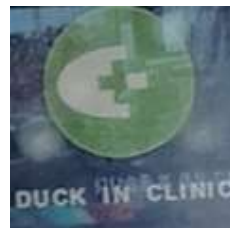
ローマ字は分かりにくい、と思うことがあるかもしれない。実は、それには訳がある。日本では国語用ローマ字、対外用ローマ字、パソコン入力の3種類のローマ字がある。

韓国も、1950 年以降より McCune-Reischauer (MR) ローマ字を基本に使われていたが、2000 年に Revised Romaji (RR) という新しい制度を導入した。その韓国新ローマ字 (RR) の浸透と定着を調べるため 2023 年 3 月～9 月に、韓国のデジョン市 (Taejon/Daejeon) に交換教授として行った。バスの窓から書き留めた横文字データは約 900 件、写真に納まったのは 500 件であった。分析すると、約 9 割は英語である。特にコーヒーショップや美容室に使うことが多くて、coffee、hair、hotel が一番多く使われた。

ローマ字表記に限定すると、まず前世紀に使われた昔ローマ字は殆ど見られなかった。



1993 年に開催した Taejon Expo の周り、家の近くの Sky Park に、Taejon、Taedeok という昔ローマ字表記があった。また、人間、ブランド、企業の名前は昔ローマ字 (というより特集ローマ字) が認められているため DUCK (Deok) IN CLINIC などの表記が残っている。特に多かったのは u (u) を (w) oo



または ou で表記、Woori (Uri) Bank、Yousung (Yuseong) Hotel などの例が何件もあった。不思議なことに、この表記は新型 RR でも旧型 MR でも認められていない。

さらに目に着いたのは、横文字のスタイルの面白さである。Samsung は A の横棒がないと同様な例がたくさんあり、O が顔になったり、E が横棒だけの例もあった。Cursive handwriting (叢書) は特に上品な店 (化粧品、美容院など) と、学生アパートの名前に使われて目立った。また、ハングルをどこで切る問題を解決するため、大文字・小文字を使うローマ字表記することも面白かった。例えば 중앙 (中央・Jungang) は 준강 (ジュンガン) ではなく 중앙 (ジュンアン) と読むように JungAng が使用された。同様な大文字・小文字のミックスがたくさん見られ、分析はこれからである。とにかく題材がたくさんでき、これからの研究に多く役立つことになる。



この様な、身の周りの言語使用を観察することは「言語景観」という社会言語学の一分野である。今度、下通上通に行く際、ローマ字の使い方に注意を払ってみてはいかがだろうか？きっと面白い発見はあると思う。

図書紹介

竹内信一著『英語文化史を知るための15章』 研究社 2009年 2800円+税

矢富 弘(講師/英語史・社会言語学)



英語史を扱うテキストには様々なものがあり、どれも作者である研究者の個性やこだわりが反映されているものである。英語の歴史的記述に終始するものもあれば、言語的側面(音声、文法など)にフォーカスするもの、現代英語との関連性から解説するものもあり実に興味深い。本書は「英語文化史」と銘打っており、英語の古典文学をトピックとして、多様な視点からアプローチしている。第1章のタイトルは「人・言葉・歴史：英語史のテキストを読む」となっており、「人」を中心に、「歴史」「文化」「言語」へアプローチすることが示されている。

本書では英語史上で重要な文学作品、例えばベオウルフやチョーサー、シェイクスピアに欽定訳聖書など

を取り上げつつ、社会や文化的背景などについて縦横無尽に語る。ウィリアム・キャクストンがロンドンに印刷技術を持ち込んだ際の印刷手法を確立していった過程や、アーサー王伝説がイギリスにおいて政治的に利用されることによって英国の建国神話として語り継がれてきたことなどが多角的に議論されている。シェイクスピアにおいてよく引き合いに出されるように、1600年頃までの医学の権威といえば1400年前のギリシャで活躍したガレノスであり、中世を通して(いまでいえばオカルト的な)「4体液説」が当然のこととして受容されていた。人間の体液は4種類(粘液、黒胆汁、血液、胆汁)で構成されており、そのバランスが乱れると体調が崩れるというのだ。このような前提を持って読み進めないと、一つ一つの文が意図しているものを掴むのは困難である。

英語の古典を深く理解するためには必須の知識であるが、大学の古典講読の授業でもなければなかなか知り得ないのではないだろうか。英語や文学、歴史やイギリス社会に興味のある方には特におすすめの本である。

学科最新news

ヴィクトリアの長期海外研修の旅へ

Ostman, David(准教授/英語教育・異文化理解力・異文化コミュニケーション論)

今年9月、英米学科は6人の学生をカナダのビクトリア市へ留学させます。パンデミック以前は年に2回、10人以上の学生を派遣することも珍しくありませんでしたが、この3年間で世界は劇的に変化しました。飛行機の便数が減り、航空券の値段は高騰し、場合によっては倍増しています。世界はインフレに見舞われ、カナダでも日本でも物価が高くなっています。さらに悪いことに、円安が留学費用高騰に拍車をかけています。

こうした課題はありますが、留学のメリットの方が大きいのは確かです。ビクトリア大学の留学プログラムでは、3ヶ月間の語学研修とホームステイを体験することができ、学園大の学生の多くが英語力を次のレベルへと引き上げています。また、ビクトリア市は治安の良さとホスピタリティの高さで有名で、カナダでの生活を体験する理想的な機会を学生に提供しています。ビクトリア大学では、3ヶ月のプログラム終了後、特定の学生が利用できる2ヶ月のボランティアプログラムも提供しています。ボランティア先や活動内容が心配な方もご安心ください。大学のスタッフが、学生一人ひとりの能力に合っ

た団体を丁寧に紹介してくれます。

2024年に留学を計画している学生に役立つヒントをいくつか紹介しましょう。まず、パスポートをまだ持っていない人は、市役所か県庁に行って申請しましょう。パスポートの有効期限は10年なので、パスポート用の写真をしっかり撮っておきましょう。

次に、2ヶ月間のボランティアプログラムに参加する場合は、TOEIC 550点以上が必要です。まだTOEICテストを受けていない人は、今すぐ受験に向けて準備を始めましょう!大学の図書館に勉強用の教材や模擬テストがあります。

もう一つ重要なのは、クレジットカードです。VISAかマスターカードがあれば、カナダ国内どこでもATMでお金を引き出せるので、多額の現金を持ち歩く心配はありません。

最後に、カナダに行く前の学期に長期海外研修(事前指導)のクラスがあるので履修してください。このクラスでは、海外での冒険のためにあらゆる準備をします!



編集人 坂田 直樹

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1

TEL: 096-364-5161(代表) Mail: na-sakata@kumagaku.ac.jp